



いつも砂防堰堤工事にご協力いただき、ありがとうございます
山本1号砂防堰堤と山本6号砂防堰堤の工事が完了しました。

広島市安佐南区山本地区 位置図



山本1号砂防堰堤の管理用道路が完成しました。



管理用道路が完成しました。

流路工(りゅうろう)
(水を安全に流す施設)
が完成しました。

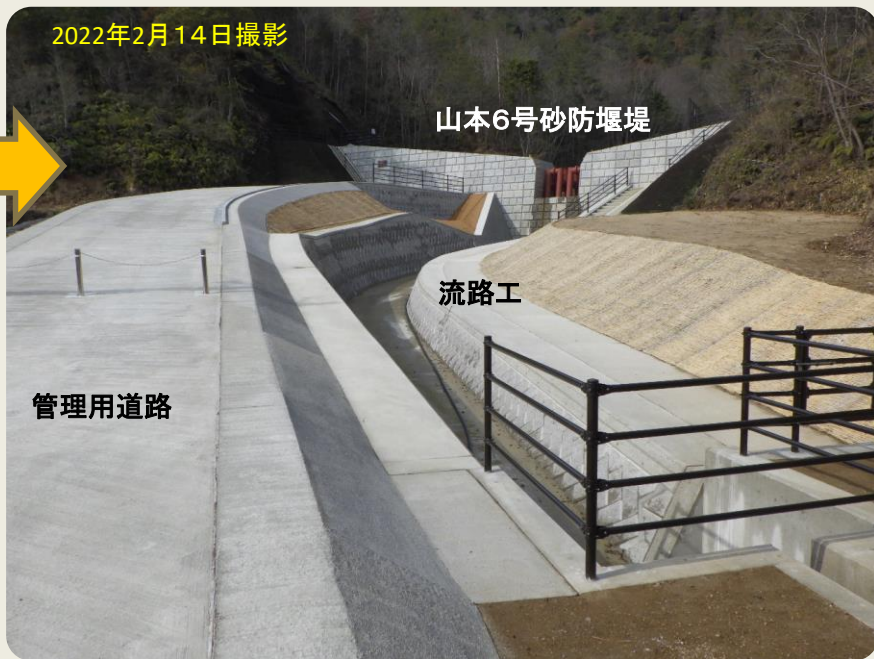


山本6号砂防堰堤の管理用道路が完成しました。

2021年9月30日撮影



2022年2月14日撮影



2022年2月14日撮影



山本6号砂防堰堤工事 工法のご紹介



① 連続長繊維補強土工法

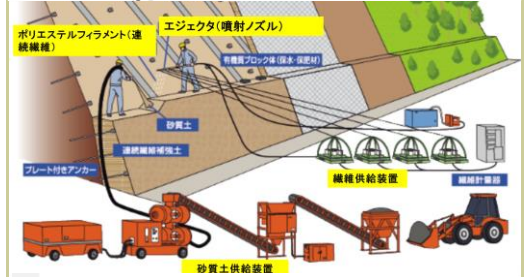
② テラセル擁壁(ようへき)工法



① 連続長繊維補強土工法 (れんぞくちょうせんいほきようど・法面保護工事)

堰堤袖部の法面保護工事は、専用機械を使って砂質土（土）と連続長繊維（糸）を同位置に吹き付ける連続長繊維補強土工法で施工しました。土と繊維の相乗効果によって、粘土以上の「すべりやずれ」に強い状態の補強土層が構築できます。補強土層の表面を緑化することができ、緑豊かな景観や自然環境にやさしい工法です。

施工システムイメージ



(C) Copyright 2006-2021 THE GEOFIBER SOCIETY All Right Reserved.



噴射ノズル

繊維供給装置×4基



蜘蛛が糸を出すように機械から噴射されます。



繊維供給機からの糸

砂質土を高圧空気によって噴射し、繊維と混合している

連続繊維が高圧水とともに噴射されます。

② テラセル擁壁工法



管理用道路の法面を支える壁は、高密度ポリエチレン製立体ハニカム構造の「テラセル」という型枠で碎石を拘束し、階段状に積み上げて擁壁を構築する「テラセル擁壁工法」で施工しました。（ハニカム＝ハチの巣という意味で、正六角形を隙間なく並べた構造）



テラセルの型枠を広げた状況

高密度ポリエチレン製のハニカム構造の型枠

軽量・コンパクトな状態で運搬や保管ができます。



テラセル型枠に碎石を充填・転圧した後、勾配を丁張で確認しながら積み上げていきます。



擁壁が積み上がった状況

コンクリートを使用しないため養生期間が不要。工期が短くできます。